

次のとおり総合評価一般競争入札を行います。

令和5年4月28日

収支等命令者

佐賀県教育委員会事務局教職員課長 岡 祐 一 郎

## 1 競争入札に付する事項

- (1) 委託業務名 公立学校教職員サービス管理システム詳細設計及び構築業務委託
- (2) 委託業務の仕様等 仕様書のとおり
- (3) 履行場所 佐賀県教育委員会事務局教職員課が認めた場所
- (4) 履行期間 契約締結の日から令和6年3月31日まで

## 2 入札参加者の資格に関する事項

- (1) 本調達は、単独企業による総合評価一般競争入札とする。
- (2) 入札に参加する者の資格は、次に掲げる要件の全てを満たすこと。

なお、資格要件確認のため、佐賀県警察本部に照会する場合がある。

ア 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者でないこと。

イ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

ウ 民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

エ 開札の日の6か月前から開札の日までの間、金融機関等において手形又は小切手が不渡りとなった者でないこと。

オ 佐賀県発注の契約に係る指名停止措置若しくは入札参加資格停止措置を受けている者又は佐賀県発注の請負・委託等契約に係る入札参加一時停止措置要領に該当する者でないこと。

カ 自己又は自社の役員等が次のいずれにも該当する者でないこと及び次の(イ)から(キ)までに掲げる者がその経営に実質的に関与していないこと。

(ア) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

(イ) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）

(ウ) 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者

(エ) 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者

(オ) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

(カ) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

(キ) 暴力団又は暴力団員であることを知りながら、これらを利用して  
いる者

キ IS027001 認証及び IS027017 認証の両方を取得していること。

### 3 再委託の禁止

本委託業務の全部又は一部を再委託することは認めない。ただし、一部の業務について、あらかじめ佐賀県の書面による承諾を得た場合は、この限りではない。この場合において、受託者は機密保持、知的財産権等に関して仕様書に定める受託者の責務を再委託先業者も負うよう、必要な処置を実施し、佐賀県に報告し、及び承認を受けること。

なお、第三者に再委託する場合は、その最終的な責任を受託者が負うこと。

#### 4 入札手続等に関する事項

##### (1) 担当課

佐賀県教育委員会事務局教職員課（旧館2階）

郵便番号 840-8570

佐賀市城内一丁目1番59号

電話番号 0952-25-7212

FAX番号 0952-25-7319

電子メールアドレス kyoushokuin@pref.saga.lg.jp

##### (2) 入札説明書及び附属書類の交付期間及び方法

###### ア 入札説明書の交付

令和5年4月28日（金）から6月9日（金）まで佐賀県ホームページ（<https://www.pref.saga.lg.jp/>）に掲載する。

###### イ 附属書類

附属書類は、公立学校教職員サービス管理システム基本設計業務委託成果物一式とし、(1)において交付する。

交付を希望する場合は、別に定める附属書類閲覧依頼書及び誓約書を令和5年5月18日（木）午後5時までに(1)に提出すること。

附属書類は、電子媒体により交付する。

##### (3) 入札説明書等に対する質問書の受付等

本契約の内容及び入札手続等に関する質問については、別に定める質問書に質問内容を記載し、令和5年5月8日（月）午後5時までに(1)のメールアドレスへ送信すること。

回答は令和5年5月15日（月）までに質問者及び同日までに競争入札参加確認申請書を提出した者に電子メールにより回答を送付する。

なお、回答日時以降に競争入札参加確認申請書の提出があった場合は、

その都度電子メールより回答を送付する。

(4) 競争入札参加資格の確認

ア 入札に参加しようとする者（以下「入札者」という。）は、イの提出期限までに別に定める競争入札参加資格確認申請書に入札説明書に規定する書類等を添付した上で、(1)まで郵送し、又は持参すること。

イ 提出期限

令和5年5月18日（木）午後5時（郵送の場合には、書留郵便により提出期限までに必着のこと。）

期限までに提出しない者又は競争入札参加資格がないと認められた者は、入札に参加することができない。

ウ 競争入札参加資格の確認結果は、令和5年5月24日（水）までに通知する。

(5) 入札者の資格の喪失

入札者は、入札日時までにおいて、次のいずれかに該当することとなったときは、入札者の資格を失うものとする。

ア 入札者について、仮差押え、仮処分、競売、破産、更生手続開始、特別清算開始又は再生手続開始の申立てがなされたとき。

イ 手形交換所による取引停止処分、主要取引先からの取引停止等の事実があり、入札者の業務執行が困難と見込まれるとき。

ウ 自己又は自社の役員等が、2の(2)のカのいずれかに該当する者であることが判明したとき、又は2の(2)のカの(イ)から(キ)までに掲げる者が、その経営に実質的に関与していることが判明したとき。

エ 佐賀県発注の契約に係る指名停止措置若しくは入札参加資格停止措置を受けたとき又は佐賀県発注の請負・委託等契約に係る入札参加一時停止措置要領に該当する者であることが判明したとき。

オ その他本契約について、契約を履行することが困難になるとみられる事由が発生したとき。

(6) 入札及び開札の日時及び場所

ア 日時

令和5年6月9日（金）午前10時（入札を郵送で行う場合には、外封筒に「公立学校教職員サービス管理システム詳細設計及び構築業務に関する入札書在中」と表書きし、内封筒に入札書を封入して書留郵便で郵送すること。また、同月8日（木）午後5時までに(1)に必着のこと。）

なお、変更の場合は、入札者に対し別途連絡する。

イ 場所

佐賀市城内一丁目5番14号 旧佐賀県自治会館2階8号会議室

なお、変更の場合は、入札者に対し別途連絡する。

(7) 開札に関する事項

開札は、入札者又はその代理人を立ち合わせて行うものとする。この場合において、入札者又はその代理人が立ち会わないときは、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

(8) プレゼンテーションの日時及び場所

ア 日時

令和5年6月9日（金）午後2時（詳細については、入札者に対し別途連絡する。）

なお、変更の場合は、入札者に対し別途連絡する。

イ 場所

入札者に対し別途連絡する。

(9) プレゼンテーションに関する事項

プレゼンテーションについては、「公立学校教職員サービス管理システム詳

細設計及び構築業務に関する提案書」(以下「総合評価のための提案書」という。)に基づき、入札者ごとに行う。

なお、プレゼンテーションの順番及び持ち時間は、入札者に対し別途連絡する。

(10) 入札保証金

ア 入札書の提出期限までに、佐賀県財務規則(平成4年佐賀県規則第35号。以下「規則」という。)第103条第1項の規定に基づき、見積金額の100分の5以上に相当する金額の入札保証金を納入すること。ただし、次のいずれかに該当する場合は、入札者は入札保証金の納付を免除し、又は一部を減額のうち入札に参加することができる。

(ア) 当該競争入札について佐賀県を被保険者とする入札保証保険契約(見積金額の100分の5以上)を締結し、その証書を提出する場合

(イ) 国、地方公共団体その他知事が別に定める団体(以下「国、地方公共団体等」という。)との間において、当該契約と同種かつ同規模の契約を締結し、これらのうち過去2年間に履行期限が到来した契約を適正に履行した実績を有しており、かつ、その者が当該契約を締結しないこととなるおそれがないと認められる場合

なお、この場合において、実績を証する契約書の写し及び業務を適正に履行完了したことが確認できる書類の写しを(4)のイの提出期限までに提出するものとする。

イ 入札保証金の納付に代えて、規則第104条第1項の規定に基づき、次の(ア)から(カ)までに掲げる価値の担保を供することができる。

(ア) 国債又は地方債 額面金額(割引債券にあつては、時価見積額)

(イ) 日本政府の保証する債券又は確実と認められる社債 額面金額又は登録金額(発行価額が額面金額又は登録金額と異なるときは、発

行価額) の 10 分の 8 以内で換算して得た金額

(ウ) 銀行又は確実と認められる金融機関が振り出し、又は支払保証をした小切手（佐賀県内に置かれた手形交換所に加入している金融機関のものに限る。） 券面金額

(エ) 銀行又は確実と認められる金融機関が引き受け、又は保証若しくは裏書をした手形 券面金額（手形の満期の日が当該手形を提供した日から 1 月を経過した日以後であるときは、提供した日の翌日から満期の日までの期間に応じ、券面金額を一般の金融市場における手形の割引率によって割り引いて得た金額）

(オ) 銀行又は確実と認められる金融機関に対する定期預金債権 債権証書に記載された金額

(カ) 銀行又は確実と認められる金融機関の保証 その保証する金額

(11) 契約条項を示す場所

(1)に同じ。

(12) 入札方法に関する事項

ア 落札者の決定は総合評価一般競争入札方式をもって行うので、提案書を入札書とともに提出しなければならない。必要書類の種類及び部数については、入札説明書による。

イ 入札は、別に定める入札書により、本人又はその代理人が行うものとする。ただし、代理人が入札をする場合は、入札前に別に定める委任状を提出するものとする。

ウ 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額（以下「入札価格」という。）に 100 分の 110 を乗じて得た金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その金額を切り捨てた金額）をもって落札金額とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか

免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望額に 110 分の 100 を乗じて得た金額を入札書に記載すること。

エ 入札価格の表示はアラビア数字を用い、頭初に「金」を、末尾に「円」を記入し、又は頭初に「¥」の記号を、末尾に「—」の記号を付記すること。

### (13) 落札者の決定方法

ア 規則第 105 条の規定により作成された予定価格の制限の範囲内で入札した者であって、その提案した内容等が仕様書の要求要件を全て満たしているものでなければならない。

イ 第 1 回目の開札の結果、入札価格のうち予定価格の制限の範囲内の価格の入札がない場合は、2 回を限度とし、直ちに再度入札を行う。ただし、郵便により入札書を提出した者が開札に立ち会っていない場合には、再度入札は、後日、改めて行う。

ウ 総合評価のための提案書の提案内容が、別に定める落札候補者選定基準における必須項目の評価基準を全て満たしているかどうかを審査し、これを満たしているものには、基礎点 50 点を与える。

また、落札候補者選定基準に示す各項目の加点の上限の範囲内（加点総点数の上限は、950 点）で提案内容の評価に応じて加点を与える。

エ 入札価格については以下の式により換算し、入札価格に対する点数（以下「価格点」という。）を与える。

$$\text{価格点} = 300 \text{ 点} \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

オ 総合評価の方法及び落札者の決定方法

(ア) アの要件を満たす者のうち、ウ及びエで算出された基礎点、加点及び価格点の合計点数が最も高い者を落札者となるべき者とする。

(イ) 合計点数の最も高い者が 2 人以上あるときは、基礎点と加点の合



計点数が高い者を落札となるべき者とする。

- (ウ) 基礎点、加点及び価格点がいずれも同点で、かつ、最も高い者が2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせ、落札者となるべき者を決定するものとする。この場合において、当該入札者のうちくじを引かない者があるときは、これに代えて当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

カ 落札候補者選定基準に記載されていない提案内容は評価の対象とならない。

キ 落札者となるべき者の当該入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認めるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認めるときは、調査の上、その者を落札者としなないことがある。

なお、調査に当たっては、見積内訳書等の資料の提出を求めるものとする。

#### (14) 入札の無効

次のいずれかに該当する者が行った入札は、無効とする。

なお、無効入札とされた者は、再度の入札に加わることができない。

ア 参加する資格のない者

イ 競争入札参加資格確認において虚偽の申告を行った者

ウ 当該競争入札について不正行為を行った者

エ 入札書の金額及び氏名について誤脱又は判読不可能なものを提出した者

オ 入札書の文字及び記号について消滅しやすい方法で記入されたものを提出した者

- カ 入札価格の記載において(12)のエの要件を満たさない入札書を提出した者
- キ 入札書の金額を訂正したものを提出した者
- ク 入札書の誤字、脱字等により意思表示が不明瞭であるものを提出した者
- ケ 民法（明治 29 年法律第 89 号）第 95 条（錯誤）により取り消すことが認められるものを提出した者
- コ 保証金を納入しない者及び保証金の納入額が不足する者
- サ 1 人で 2 以上の入札をした者
- シ 代理人でその資格のないもの
- ス 上記に掲げるもののほか、競争の条件に違反した者

(15) 入札の撤回等

入札者は、その提出した入札書の書換え、引替え又は撤回をすることができない。

(16) 入札又は開札の中止

次のいずれかに該当する場合は、入札を中止する。この場合の損害は入札参加者の負担とする。

ア 競争に参加し、及びこれに関係を有する者が、共謀結託その他の不正行為を行い、又は行おうとしていると認められるとき。

イ 天災その他やむを得ない理由により、入札又は開札を行うことができない場合

(17) 入札の辞退

入札参加者は、入札書提出前までいつでも入札を辞退することができるが、辞退する場合は、速やかに別に定める入札辞退届を提出すること。

4 その他

(1) 入札及び契約の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 契約書の作成の要否 要

(3) 契約保証金

ア 契約締結の際に、規則第 115 条第 1 項の規定に基づき、契約金額の 100 分の 10 以上に相当する額の契約保証金を納付すること。ただし、次のいずれかに該当する場合は、契約の相手方は契約保証金の全部を免除し、又は一部を減額のうち契約を締結することができる。

(ア) 当該契約について保険会社との間に佐賀県を被保険者とする履行保証保険契約（契約金額の 100 分の 10 以上）を締結し、その証書を提出する場合

(イ) 国、地方公共団体等との間において、当該契約と同種かつ同規模の契約を締結し、これらのうち過去 2 年間に履行期限が到来した契約を適正に履行した実績を有しており、かつ、その者が当該契約を履行しないこととなるおそれがないと認められる者

イ 契約保証金の納付に代えて、規則第 116 条の規定に基づき、3 の(10)のイに掲げる価値の担保を供することができる。

(4) 談合情報があった場合は、談合の事実の有無にかかわらず、その全てを公表することがある。

(5) 談合情報どおりの開札結果となった場合は、談合の事実の有無にかかわらず、契約を締結しないことがある。

なお、この場合は、原則として改めて公告をし、入札を行うものとする。

(6) 詳細は入札説明書による。

(7) 仕様書及び附属書類の記載内容の無断転載を禁止する。

(8) この調達契約は、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特

例を定める政令（平成7年政令第372号）第4条に規定する特定調達契約である。

## 5 Summary

### (1) Subject matter of the contract:

Consignment of detailed design, and construction of the Saga public school person service management system.

### (2) Fulfillment period:

From the day of the contract to March 31, 2024.

### (3) Bid description access:

Download from the Saga Prefecture website <https://www.pref.saga.lg.jp/>  
(From April 28, 2023 to June 9, 2023)

### (4) Date and time for the opening bids and tenders:

The meeting for tenders will begin promptly at 10:00 a.m. on Friday, June 9, 2023.

Bring tenders with you or send it by mail. If sending by mail, tenders must be sent by registered post and received by 5:00 p.m. on Thursday, June 8, 2023.

### (5) Contact information:

Education Personnel Division (Old Building, 2<sup>nd</sup>floor), Board of Education, Saga Prefectural Government

1-1-59 Jonai, Saga City, Saga Prefecture, 840-8570, Japan

Tel:0952-25-7212 Fax:0952-25-7319